

庭のシリーズ#4
忠誠
イズラエル・タラマンテ
2024年・5月・5日

今日もガーデン シリーズを続けます。ここ B4 でよく話題にしているテーマの 1 つに、ガーデンという概念があります。良いものが育つガーデンです。B4 教会と CV は、神が新しく美しい生命を創造してきたガーデンであるというイメージがあります。神は常にこの教会のガーデンと私たちの魂のガーデンに水をやり、養っています。神は私が知る限り最高の庭師です。このガーデンの最も素晴らしい点の 1 つは、神がこのガーデンを守り、働いてきただけでなく、私たちをこのガーデンの作業の協力者、参加者にしてくださったことです。1コリント3:9はこう言っています – 私たちは神に仕える同労者であり、あなた方は神の畑、神の建物なのです。神は、これまで創造されたすべてのものを、私たちを創造の働きのパートナーにされました。

神は、すべてを自分のために取っておくのが好きな神ではありません。それどころか、神が創造したものはすべて、共有してきました。そして、神が創造物、つまり園を共有してきたので、私たちには、神が私たちに託した仕事に忠実である責任があります。

どうしてそれがわかるのでしょうか? では、すべての始まりに戻りましょう。聖書の創世記第 2 章 8-9,15 節を開いてください。文脈: 創世記は、神が休息し、創造したすべてのものを祝福するところから始まります。この章の後半では、墮落前のアダムとイブの創造について語っています。第 2 章では、人類の理想的な状態が描かれています。では、読み始めましょう: 8 それから主なる神は、東の方のエデンに園を設け、ご自分が造った人をそこに置かれた。9 主なる神は、地上から、美しく、おいしい実を結ぶ、あらゆる種類の木を生え出させ、園の中央に、いのちの木と、善悪を知る木とを置かれた。15節、15 主なる神は人をエデンの園に置き、それを管理させられた。他の翻訳では、園を耕し、世話をするようにと書かれています。主が園を植えました。人間がやったのではなく、神がやったのです。アダムが園に住む前、彼は園から創造されました。園が植えられた後、創世記には、神が人間を園に置いたと書かれています。神が人間を園に置いたのは、2つの理由からです。園を手入れするため、あるいは翻訳では園を耕す、または園で作業するため、そして園の世話をす、または園を見守るためと書かれています。アダムには果たすべき責任がいくつかありました。

先日、ある男性と話していたのですが、彼は自分の仕事について、そしてどれだけ仕事が多すぎるかについて不満を漏らしていました。彼は私にこう言いました。「私が人生で働かなければならない唯一の理由は、アダムとイブがすべてを台無しにしたからです。彼らがいなかったら、私は人生で一日も働かなくて済んだでしょう。」それは間違いです! 墮落する前から、神はアダムが働き、守るために園を創造しました。アダムは不満を言うためではなく、楽しむためでした。

実際、エデンという言葉はヘブライ語で喜びや楽しみを意味します。神が人間のために作り、耕し、守るために作った園は、人間の楽しみ、喜びのためでした。9節には、神がこの園で作ったものはすべて美しく、そこにある果物はすべておいしかったと書かれています。神はアダムに、彼の楽しみのために最高のものを与えていたのです。

神が私たちに何かを与えるときはいつでも、私たちが神を喜べるように、最高のものを与えてくださいます。神は祝福としてアダムに仕事を与えました。神はアダムに必要な糧と創造主を称賛する機会を与えていました。しかし、原始的な状態の自然にも、何らかの世話、何らかの作業、何らかの監視が必要でした。

神はアダムに園の最高のものを与えたので、アダムがしなければならないことは、その賜物に忠実であることだけでした。彼はどのように忠実になるのでしょうか。世話をし、見守ることです。アダムが当時負っていた責任と、あなたや私が現在負っている責任を理解できるように、この2つの言葉をもう少し詳しく説明しましょう。最初から、神はアダムを、神から与えられた仕事に忠実であるように置きました。忠実さは実りをもたらすことを理解する必要があります。アダムが園の世話に忠実であればあるほど、より多くの実りを楽しむことができるのです。これらの言葉の意味と、神が与えてくださった園に対する私たちの忠実さにどのような影響があるのかを見てみましょう：

1. 手入れをする。ヘブライ語の「Tend」の原語は、「注意を払う」「奉仕する」「労働する」という意味です。また、「耕す」という意味もあります。「仕上げの過程を経る」「成長を促す」という意味です。

創世記2章で神がアダムを園に置いたとき、アダムは神が創造したものに注意を払わなければなりません。アダムは奉仕し、耕し、あらゆる植物やあらゆる木の成長を促す必要がありました。アダムは切り、刈り込み、水をやり、神の賜物を生かし、成長させ、実を結ぶ責任がありました。この実はアダムだけが楽しむものではなく、彼のすべての世代が楽しむものでした。神が私たちに何か良いものを与えてくださるときはいつでも、それはあなただけが楽しむものではなく、他の人も楽しむものです。

それがアダムの最初の責任でした。そしてアダムは：

2. 見守ったり、保管したりします。ヘブライ語で「守る」という意味は、「守る」「保存する」「忠実である」「維持する」「労働する」「守る」です。アダムは、神から与えられた庭を守り、維持する責任もありました。庭を傷つける可能性のあるものから庭を守るためです。

神が創造したこの美しい庭は、自然の法則に従わなければならない、おそらく生い茂りすぎたり枯れたりするでしょう。庭は手入れが必要になり、保護、手入れ、愛情が必要になりました。おそらくアダムは、植物が育つように植物に話しかけることを発明したでしょう☺ アダムは、神の祝福の管理者、監督者になりつつありました。

天地創造の初めから、神は私たちを、神が与えてくださったすべての賜物の忠実な管理者として創造されました。ヤコブの手紙第1章17節には、**すべての良い賜物、すべての完全な賜物は上から来るとあります...**あなたと私が持っているものはすべて、神から

の良い完全な賜物です。あなたの結婚は神からのものです。あなたの子供たちは神からの賜物です。あなたが住んでいる家やアパートは間違いなく神からのものです。詩篇第24章1節には、「地は主のものであり、その中にあるすべてのものは神のものである。世界とそこに住むすべての人は神のものである」とあります。あなたと私が持っているもの、所有物、家族、仕事、教会、富、すべては神のものです。そして、私たちに与えられたものはすべて、多かれ少なかれ、私たちにはそれを見守り、守る責任があります。

世話をし、見守るためのキーワードは「忠実さ」です。誠実さは良いものが育つための肥料です。何に対しても不誠実であれば、あなたは失うこととなります。結婚生活に不誠実であれば、おそらくそれを失うでしょう。仕事に不誠実であれば、おそらく解雇されるでしょう。お金の管理方法に不誠実であれば、お金は失われます。アダムとイブが神に不誠実であったとき、彼らは純真さを失い、神の存在との個人的なつながりを失い、喜びと楽しみを味わうはずの場所からいられなくなりました。神が私たちに与えてくださったものから目を離すと、それを失う可能性があります。

数週間前、妻と私は裏庭の掃除と草取りを始めました。ところで、ここで裏庭の草取りと掃除について話すために立ち上がった人は皆、それが嫌いだと言っています。私も例外ではありません。私たちが家を買ったとき、買い主は庭師だったので、私たちが好きになったものの1つが裏庭でした。彼は私に何をすべきか、どのくらいの頻度でそれをすべきかを教えてくれました。最初の1か月は最高でした。私はそれをするのが大好きでした。楽しんでいました。しかし、何週間も何ヶ月も経つと、私は神が私に与えてくれた文字通りの美しい庭から目を離し始めました。雑草が生え始め、低木が手に負えないほどに成長しました。いくつかの木は枯れ始めました。突然、私が生えると思っていた場所に草が生え始めました。かつて私が楽しんで愛していたこの美しく豪華な裏庭は、今では雑草が生い茂り、枯れ、醜い状態になっていました。そして、妻が私に言った言葉を思い出しました。「私たちが手入れをしなかったからこうなったのよ」言い換えれば、これは何か他のことに気を取られ、気が散り、あるいは怠けてしまったために起こったことです。私はこの美しい裏庭を生き生きと保つという約束を守れませんでした。そして今、枯れた木や雑草をすべて取り除かなければならず、かつての美しい庭を再建するのに何ヶ月もかかってしまいました。私はその一瞬一瞬を嫌っていました。

なぜそれが嫌いだったのか？それは、自分の仕事に忠実でなかったから。何か他のことが私の注意を引いたから。

創世記第2章の終わり近くで、神がイブを創造したことも分かります。イブはアダムの助手となるはずでした。つまり、アダムが庭の手入れをするのを手伝う責任も負っていました。それはチームワークのはずでした。二人とも、神から与えられた賜物に忠実であるように造られました。しかし、何かが起こりました。二人とも、自分の天職、自分の仕事から目をそらし始めたのです。創世記第3章を読み進めると、人間の墮落とそれがどのようにして起こったのかが分かります。神はすでにアダムに義務を与え、何をす

べきか、どのようにすべきかを与えていました。アダムは神の創造物を楽しみ、妻を楽しみ、庭の手入れをし、動物に名前を付け、創造物を支配する力を与えられるはずでした。アダムに必要なのは、自分の召命、自分の仕事、自分の天職に忠実であることだけでした。しかし、別のことが彼の注意を引いたのです。庭の手入れだけでは十分ではありませんでした。神の似姿に創造されただけでは十分ではなかったのです。創世記 3:6-7 - 女性は確信しました。その木は美しく、その果実はおいしそうだったので、その木から得られる知恵を欲しました。(命の賜物を持ち、清らかに生き、喜びの場所に住み、毎日神の存在を感じるだけでは十分ではありませんでした。彼らはもっと知恵を持ち、もっと神のようになりたかったのです。)。そこで彼女はその実を取って食べた。それから、一緒にいた夫にも与えたので、彼も食べた。7 そのとき、二人の目が開け、突然、自分たちの裸を恥ずかしく思ったので、いちじくの葉をつづり合わせて身を隠した。23節に進みましょう。そこで主なる神は彼らをエデンの園から追放し、アダムを、彼が造られた土を耕すために遣わした。

アダムは喜びと楽しみと享樂の園から荒廢の場所へと移されました。今や彼は享樂の仕事をするために置かれたのではなく、悲しみの仕事をするために遣わされたのです。今や彼がしなければならなかった仕事は苦痛と悲しみと汗と怒りを伴い、神はただ何か他のことに彼の注意を引いたというだけの理由で彼を榮光から追放したのです。何に対しても不誠実であれば、それを失うことになる。アダムは、庭を世話し、見守り、庭で過ごすことを楽しむ特権を失いました。忠実さは良いものが育つための肥料です。不忠実さは罪と災難のもとです。

だからこそ、パウロはガラテヤの教会に語ったとき、彼らにこう尋ねたのです。ガラテヤ6:4 - 自分の仕事に細心の注意を払ってください。そうすれば、仕事がうまくいったという満足感が得られ、自分を他の人と比較する必要がなくなります。(自分の仕事に注意を払ってください。神があなたに与えてくださった庭に注意を払ってください。牧師の仕事に注意を払ってください。家族の仕事に注意を払ってください。忠実であり、一貫性を持ってください。そうすれば、仕事をやり遂げたという満足感を得ることができます。)

アダムとイブはエデンの園から追放され、神の存在も彼らから去ったにもかかわらず、イエスは私たちの魂の死にゆく園を救い、回復するために来られました。素晴らしいのは、私がそれを一人で行う必要がないということです。イエスに近づくほど、彼の誠実さについてより多くを学びます。彼はあなたと私と一緒にこれに取り組んでいます。テサロニケ人への手紙二第3章3節にはこうあります - しかし、主は真実な方ですから、あなたを強くし、悪い者から守ってくださいます。神の忠実さは、あなたが忠実であり続けるために必要な力を与えてくれます。神の忠実さは、私たちが神から与えられた使命から目をそらすことからあなたを守ってくれます。コリント人への第一の手紙第1章9節にはこうあります。 - 神は、約束されたことを忠実に実行し、神の子、私たちの主イエス・キリストとの協力関係にあなたを招いてくださったので、その通りになります。イエスは私たちと一緒に庭の手入れをしたいと願っておられます。庭を大切

にするためです。私たちは一人でやる必要はありません。イエスの忠実さは私たちの中に実を結び続けます。

神が私たちを置いた庭を、私たちはどのように手入れし、気遣い、見守っているでしょうか。私たちはそれに注意を払い、忠実でいる必要があります。この画像で終わりたいと思います。(両方の植物を見せてください。1つは生きていて、もう1つは死んでいる)

結論

この美しい植物は、神が私たちに託した庭の美しい贈り物を表しています。この植物は私たちが楽しみ、喜び、養うためのものです。この植物は美しく、生命力にあふれています。この植物は私たちの結婚の庭、子供たちの庭、財政の庭、教会の庭を表しています。神は私たちにこれらすべての庭を授け、私たちが世話をし、耕し、見守ることができるようになりました。パウロが言ったように、私たちが行っている仕事に注意を払うことができるように。私たちにはこの植物が生き続けるようにする完全な責任があります。私たちには結婚、子供たち、繁栄し成長する教会に対する責任があります。私たちが世話をし、見守ることで、この植物は繁栄し成長します。なぜなら、そうでなければ...

(枯れた植物を表示) 神が私たちに託した庭は、枯れてしまう可能性があります。私たちがそれを手入れせず、見守らなければ、私たちの結婚生活がうまくいかない可能性があります。私の子供たちがイエスを愛するように成長しない可能性もあります。私が教会の庭の手入れをしなければ、教会に対して恨みを抱き、教会を批判する可能性があります。教会は、私の子供たちと私の家族が育てるべきものです。

神が私たちを置かれた庭をどのように手入れし、見守ればよいのでしょうか：

1. 家族 – 結婚生活に投資しましょう。B4 または CV で結婚生活のクラスを受講しましょう。配偶者に対してもっとイエスのようになりましょう。子供たちを教会に連れて行きましょう。子供たちに神の言葉を話しましょう。子供たちが学生の奉仕生活の一部となるよう励ましましょう。

2. 財務 – 神の王国に投資してください。先週、CV は史上最大の日曜日を迎えました。これは、あなたのような人々が王国に投資したからこそ実現したのです。CV はあなたの寛大さのおかげで存在しています。サッカー キャンプ、ユース キャンプ、キッズ キャンプ、教会の生活、私たちが人々に手を差し伸べる方法は、あなたが B4 と CV と呼ばれるこの庭に種を蒔いているからこそ実現しているのです。

3. 参加する – 神は私たち一人一人に、教会の利益のために霊的な賜物を与えてくださいました。B4 と CV は、あなたが参加することでさらに良くなります。参加してください。傍観者ではなく、参加者になってください。QR コードがあり、それをスキャンして参加できる場所を確認できます。インフォメーション センターに行って、「B4 の庭を世話し、見守りたいのでここに来ました。私も参加できるとわかっています」と尋

ねてください。CV、インフォメーションブースに行けば、彼らがあなたを助けてくれるでしょう。

4. イエスになれ－神があなたの心に種を蒔く機会を与えてください。私たちが庭で失敗したときはいつでも、神は私たちを許してくれます。神はいつでも、私たちが庭で働き続けられるよう、もう一度機会を与えてくれます。

神が私たちを置かれた庭に忠実でありましょう。そうすれば、私たちは実りと命を見ることになるからです。